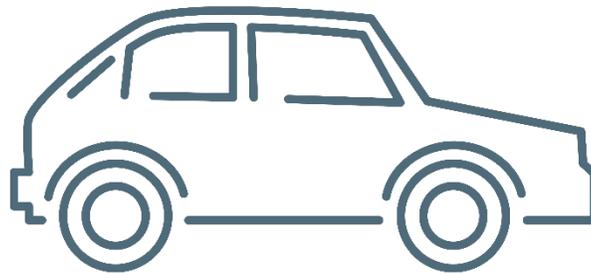


集合型 Live webセミナー

CASEを加速させるソフトウェア・デファインド・ビークル

～SDVが実現する自動車の新しいカタチ～



CASEを加速させるソフトウェア・デファインド・ビークル

会期名称 CASEを加速させるソフトウェア・デファインド・ビークル

主催 

開催日時 2023年3月24日(金) 1DAY

申込締切 2023年1月17日(火)

イベント形式 集合型オンラインセミナー

視聴方法 無料登録制

事前申込者数 約250名想定

告知/集客 MONOistを中心とした当社媒体

運営 アイティメディア株式会社 セミナー運営事務局

本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。
あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

MONOistにて、
CASE,SDVに関連した記事も取り扱い中



The screenshot shows a webpage for the 'Mist AI' seminar. The header features the MONOist logo and navigation links. The main content area has a blue background with the text 'Mist AI' and 'AIクラウド型Wi-Fi'. Below this, there is a search bar and a list of articles. The first article is titled 'ソフトウェアデファインドビークル開発向けの車載統合プラットフォーム' (Software Defined Vehicle Development Platform for In-Vehicle Integration). The article text mentions NXP Semiconductors and the SDV (Software Defined Vehicle) development process. There are also social media sharing buttons and a sidebar with 'Embedded' and 'Special Contents' sections.

<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2203/28/news058.html>



モノづくりスペシャリストのための情報ポータル

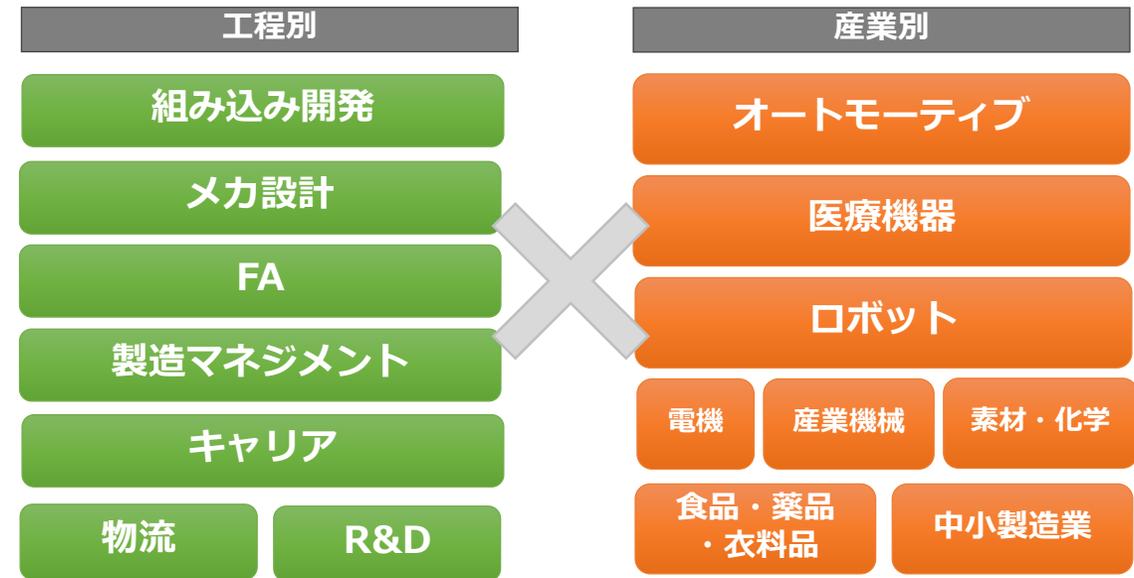
MONOistは製造業で活躍するエンジニアのさまざまな課題を解決するための情報ポータルです。基礎から応用まで多彩な技術解説記事、図版を多用した分かりやすいコンテンツ、話題のトピックスをより深く掘り下げた連載記事など、モノづくりに役立つ蓄積型コンテンツが充実しています。

製造業関連の最新かつ専門性の高い技術情報を工程・産業別の切り口でご紹介

現場からリーダークラス・経営層まで
モノづくりエンジニアを中心に製造業全体の読者をカバー



製造業	69.2%	モノづくり関連職	58.9%	経営者・役員クラス	5.4%
その他	30.8%	社内情報システム	11.1%	ス	1.3%
		経営・経営企画	4.0%	事業部長・工場	11.1%
		その他	26.0%	部長クラス	22.4%
				課長クラス	22.8%
				係長・主任クラス	37.0%
				その他	



媒体名	MONOist
URL	https://monoist.itmedia.co.jp
PV	2,466,354 PV/月 918,312 UB/月 ※2022年8月度実績
メルマガ配信数	モノづくり総合版 約19.6万通/日刊MONOist 約6.3万通

※[MONOist読者調査2020]より 調査期間：2020/6/22~7/18

ソフトウェア・デファインド・ビークル (SDV) とは

自動車業界では昨今、「ソフトウェアデファインド・ビークル (Software-Defined vehicle)」という考え方や表現が広がり始めています。直訳すると“ソフトウェアで定義されたクルマ”であるように、今までの自動車にはなかった変化を示しています。

「ソフトウェアデファインド (Software-Defined)」とはもともと、サーバやネットワーク、ストレージなどにつくIT関連の用語でした。IT業界と同じトレンドを、自動車業界もたどろうとしています。その道のりでは、自動車ならではの難しさもある一方で、IT業界をお手本にクリアしていける課題もあると考えられます。

従来の自動車は、ハードウェアが決まった後に、ハードウェアに合わせて、ソフトウェアを開発するという流れでした。そうした「**ハードウェアありき**」「**ハードウェア優位**」の従来の開発から脱却するため、**ハードウェアとソフトウェアを分けて開発していこう**という機運が高まっています。こうしたトレンドは「**ソフトウェアファースト**」とも呼ばれます。

その背景にあるのは、**ハードウェアとソフトウェアの進化のスピードが異なる**という点です。早い方が優れているというわけではありませんが、一般的にはハードウェアよりもソフトウェアの方が進化が早いといわれています。ハードウェア優位の従来の手法では、自動運転車やコネクテッドカーに最新のソフトウェアを取り入れるまで時間がかかってしまいます。

ハードウェアとソフトウェアを分けて捉えることは、自動車の進化においてさまざまなメリットがあります。**ハードウェアの進化を待つことなくソフトウェアの開発を加速させ、その成果をクルマのオーナーに提供することができます**。これまで、購入した後のクルマの性能を向上させる手段は限られていて、不具合に手当てするためのリコールか、オーナーが自己責任で改造するかしかありませんでした。ソフトウェアによって購入後のクルマがアップデートされれば、従来にない付加価値を持たせていくことも可能です。

アップデートのしやすさという面でも、ハードウェアとソフトウェアの分離は必須となっています。従来の自動車は1つの機能に1つのECU (電子制御ユニット) が対応するため、1台で100個ともいわれるECUが搭載されています。それぞれのECUは分散し、車載ネットワークの通信も複雑化しています。こうしたハードウェア体系のまま、自由自在にアップデートするのは困難です。

「ソフトウェアデファインド」は、ハードウェアは進化が遅いので全てがソフトウェアによって決まるという意味ではありません。**ソフトウェアを更新し、クルマとしての性能を進化させていくことを前提に、効率的なアップデートや将来の伸びしろ、車両としての安全性を実現するハードウェアの進化も不可欠**となっています。

MONOistによる関連記事

ハードウェアと同じくらいソフトウェアを強くする、トヨタのアプローチ：車載ソフトウェア（1/3 ページ） - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2102/18/news048.html>

マツダが販売後のソフトウェア更新第2弾、エンジン出力アップでのびやかな加速：車載ソフトウェア - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2109/03/news062.html>

トヨタグループはソフト開発体制を1万8000人に、「幅広い分野の人材が必要」：車載ソフトウェア（1/2 ページ） - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2108/26/news066.html>

自動車に「ソフトウェアファースト」がもたらす競争力を考える：MONOist 2021年展望（1/3 ページ） - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2101/13/news056.html>

「ソフトウェアファースト」で社会の一部となるクルマづくりへ、トヨタとNTT：製造マネジメントニュース - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2003/25/news070.html>

ソフトウェアファーストでオープンな開発環境にArmが名乗り、「SOAFEE」発表：車載ソフトウェア（1/2 ページ） - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2109/17/news067.html>

FCAとPSAのステランティスも「ソフトウェアファースト」、パートナーはフォックスコン：車載ソフトウェア - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2105/19/news056.html>

ソフト更新で走行性能の向上や個人に合わせたチューニング、トヨタがKINTOで：モビリティサービス - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2106/08/news060.html>

自動運転車をファーストクラスに、NVIDIAが最新プラットフォームを発表：自動運転技術 - MONOist
<https://monoist.itmedia.co.jp/mn/articles/2111/11/news052.html>

MONOistは、数年前よりいち早く自動車とソフトウェアについて注目し、記事を掲載しております。

CASEを加速させるソフトウェア・デファインド・ビークル

PART I ハードウェア開発

キーワード

- ・ソフトウェアファースト
- ・無線ネットワークによるソフトウェアアップデート (OTA : Over-The-Air)
- ・ECU (電子制御ユニット)
- ・車載コンピュータ
- ・車載通信機
- ・コネクテッドカー
- ・セキュリティ
- ・自動運転システム
- ・ADAS (先進運転支援システム)
- ・リコール

想定講師

自動車メーカーや大手サプライヤーでコネクテッドカーの企画や開発に携わる技術者

PART II ソフトウェア開発

キーワード

- ・ソフトウェアデファインド
- ・仮想化技術
- ・無線ネットワークによるソフトウェアアップデート (OTA : Over-The-Air)
- ・セキュリティ
- ・リコール
- ・コネクテッドカー
- ・クラウド
- ・車載ソフトウェア

想定講師

IT企業やソフトウェア企業で自動車を担当する技術者

【各セッション枠時間】

主催者セッション : 40分
スポンサーセッション : 30分

13:00~13:40	PART I : ハードウェア開発 主催者セッション1
13:50~14:20	スポンサーセッション1-1
14:30~15:00	スポンサーセッション1-2
15:10~15:50	PART II : ソフトウェア開発 主催者セッション2
16:00~16:30	スポンサーセッション2-1
16:40~17:10	スポンサーセッション2-2

※タイムテーブルは変更となる
可能性がございます。

	セッション	全リスト	備考
スポンサーセッション	● Live配信+アーカイブ	—	30分のセッション枠をご提供いたします。 会期中登録者にアーカイブ配信を実施
スポンサーアンケート	●	—	講演時間中に独自のアンケートを実施して いただくことが可能です。
全申込者リスト ※想定250名	●	●	セミナー全体の申込者の「会社名」「部署名」 「役職」「メールアドレス」など、名刺情報をリ ストにてご提供します。
自セッションの 視聴者データ・レポートサイト	●	—	自セッションの視聴者の名刺情報を獲得でき ます。
事前アンケート結果	●	●	申込時に立場や選定状況等を尋ね、これらの回答内 容を付随したデータを後日納品します。見込み客の 選別やアポイントを取る時の事前情報としてお役立 て下さい（設問は弊社設定）
スポンサーロゴ掲載	●	●	セミナー告知ページに掲示（貴社サイトへの リンク）します。
資料配布	●	—	セミナー参加者に、視聴画面/サンクスメールでダ ウンロードURLを案内します。カタログ資料など 3点まで提供が可能です。（3点とは別に講演資料 も配布可）
開催報告書	●	●	来場アンケートの集計結果を後日ご提供します。 （個人情報を含みません）
<p>※ご協賛申込が申込締切日以降となった場合、各プランとも想定の前 事前申込者データ数に達しない可能性があります。</p> <p>※ご協賛状況により、実施は見合わせとなる場合がございます。</p> <p>事前のご了承、およびお申込み締切にご協力いただけますよう お願い致します。</p> <p>※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。</p>	<p>¥2,000,000-</p>	<p>¥1,500,000-</p>	
お申し込み締切：2023年1月17日（火）			（すべて税別・グロス価格）

①PR記事 (MONOist Special)

セッションプランにご協賛いただきました場合に限り、
タイアップ記事（貴社セッションをフォーカスした
イベントレポート記事も可）を提供いたします。

¥1,300,000
↓
¥1,100,000-
(消費税別)

②セッション動画 活用リードジェン

セッションプランにご協賛いただきました場合に限り、
セッション動画を活用し、リーズナブルな価格で
追加でのリードジェン獲得を実施いただけます。

¥1,100,000
↓
¥900,000-
(消費税別)

③セッション動画 納品

セッションプランにご協賛いただきました場合に限り、
セッション動画のmp4ファイルを特別価格で提供いたします。
(ライブ配信のみ／編集不可)

¥50,000-
(消費税別)

①②については次ページに詳細説明があります

①PR記事(MONOist Special)

※セッションプランスポンサー限定

貴社のセッションを記事化し、当日来場できなかった方にも
製品・ソリューションをアピールしませんか？



誘導枠掲載位置



実施料金

PV保証タイアップ 2,000PV保証
¥1,300,000 ⇒ **¥1,100,000-**

(税別、Gross)

広告仕様

保証形態	PV保証
保証PV	2,000PV
掲載期間	最短1週間～想定1ヶ月 (保証PVを達成次第終了)
メニュー	タイアップ記事 1本制作 約3,000～4,000字、図版3点以内 コンテンツ掲載費含む 閲覧レポート (PV,UB,閲覧企業等)
記事掲載	MONOist

- ・本メニューは、本セミナーセッションの配信・録画データを視聴しながら記事化するものです。別途取材は行いません。
- ・誘導広告のスペースや原稿内容は当社にお任せいただきます。
- ・誘導原稿はアイティメディアが準備いたします(事前の確認・指定はできません)
- ・誘導広告は保証PV達成次第、掲載を停止いたしますが、最低1週間は掲載を保証いたします。
- ・初校の出し直しの場合：¥300,000、
念校以降の修正の場合：¥100,000 を別途申し受けます。

②セッション動画活用リードジェン

※セッションプランスポンサー限定

セミナーにご掲載いただく講演動画、または講演資料をTechFactoryに掲載。
セミナーのためにご準備いただいたコンテンツを活用して、
開催終了後にも継続してリード獲得をリーズナブルにご実施いただけるプランです。

セミナー掲載コンテンツ



セミナーに
掲載した
講演動画
または講演資料



講演資料、
製品資料など
新規PDF 1点以上



TechFactoryに掲載



ターゲットに向けて
メールなどで
貴社コンテンツをオファー

コンテンツ閲覧時に
アンケート回答と個人情報提供の許諾を
取得



獲得したリードは管理サイトで
ダウンロードできます
(日次更新)

実施料金

¥1,100,000 ⇒ **¥900,000-**

(税別、Gross)

※お申込み期限※ **セミナー終了後2ヶ月間以内**

保証件数

100件保証

※セグメントなし
※属性指定などプランのカスタマイズも
可能です。担当営業までご相談ください。

掲載／誘導

掲載：TechFactory
誘導：TechFactory、MONOistを
中心とする当社運営の製造業向け
メディア会員へのメール配信など

実施詳細

- ・約2カ月想定しています。
- ・保証件数に達した時点でキャンペーンは終了となります。
- ・セミナー終了後、3カ月以内であれば任意のタイミングでキャンペーンを開始していただけます
- ・キャンペーンお申込みをいただいてから最短11営業日でリード獲得開始が可能です
- ・キャンペーンの進捗が著しく悪い場合、コンテンツ追加をご相談することがございます

2023年1月17日(火)

申込締切

締め切りまでに**利用申込書を担当営業にご提出**ください。
用紙及びご提出先は担当営業よりご案内させていただきます。

告知準備

イベント告知にも関連する、セッションのご講演者情報、ご講演タイトル、
貴社ロゴデータなど合わせてご提出いただく、
セッション登録用紙を事務局へご提出ください。

2月中旬～

イベント告知
開始

事務局にて、集客のためのイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。

開催準備

開催に向けて、**配布資料・視聴者向けセッションアンケート設問・動画納品の場合
のご講演データなどを事務局にご提出**ください。
開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りさせていただきます。

2023年3月24日(金)

イベント開催

イベント本番となります。ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までに弊
社スタジオ受付にお越しください。また、開催中は**レポートサイトにてリアルタイムにセッ
ション視聴者数などをご確認**いただけます。

終了後～

会期終了

会期終了後、**3～5営業日以内に事前申込者のリストご提出**させていただきます。
また終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。※予定
開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出させていただきます。

※上記は目安のスケジュールとなります。詳細なスケジュールは開催日が決定後、ご案内いたします。



月間約246万PV/91万UBを誇る製造業専門メディアで告知集客

集客

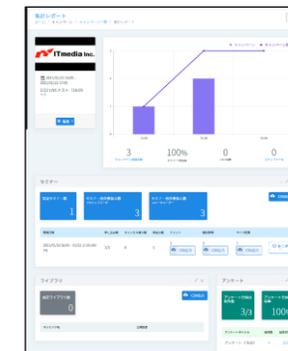
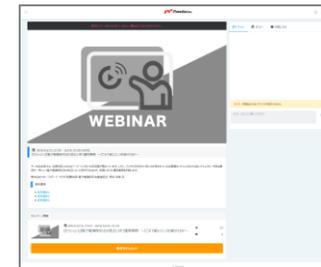
申込

Live配信

イベント
レポート

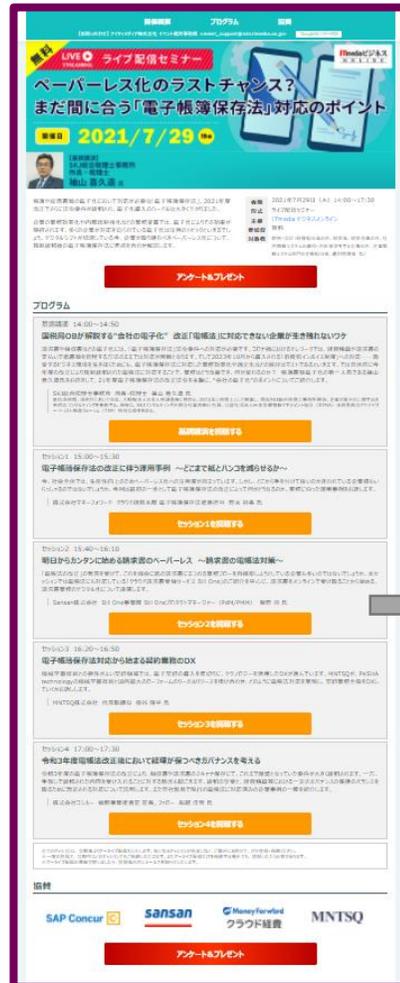


登録完了メール



アイティメディア運営のWebサイトやメールで集客を行い、読者を申し込みページへ誘導。申込者に対してオンラインイベントを案内します。ご参画各社様には、セッションや資料ダウンロードの他、オンラインイベントならではの詳細なレポートをご用意します。

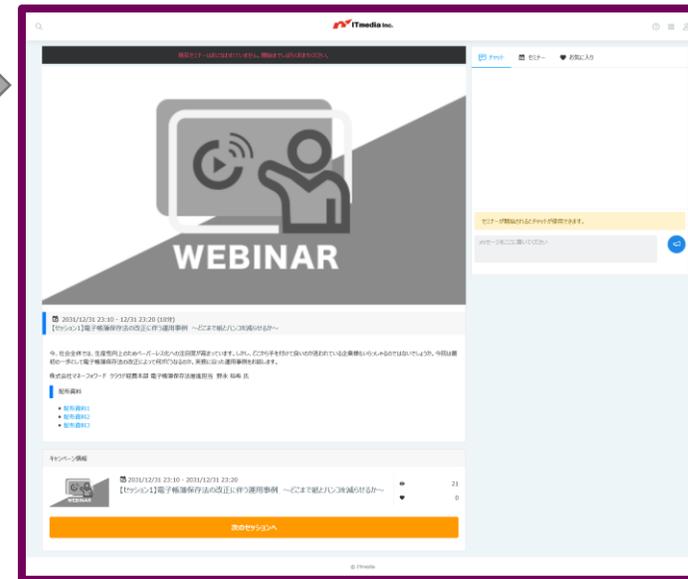
▼セミナー会場 エントランス画面



イベントタイトル・概要

セッション詳細

▼各セッション視聴画面



クリックで講演/
セッション画面へ

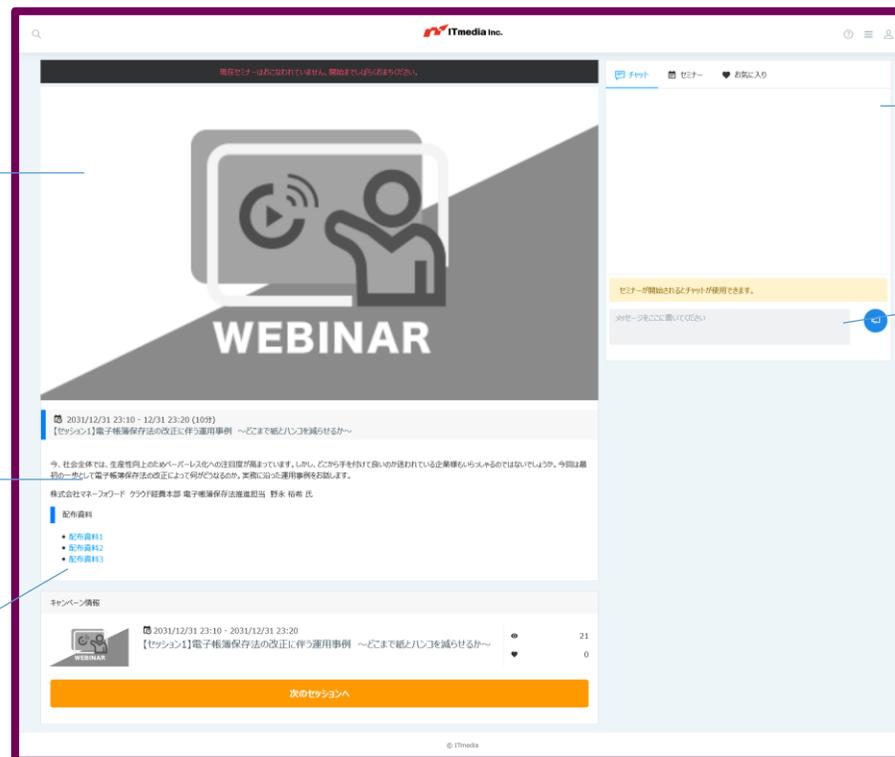
ロゴ掲載

※画面レイアウトはサンプルです。

① 講演映像
講演スライド

② セッション紹介

③ 資料ダウンロード
・ 関連リンク



④ アンケート

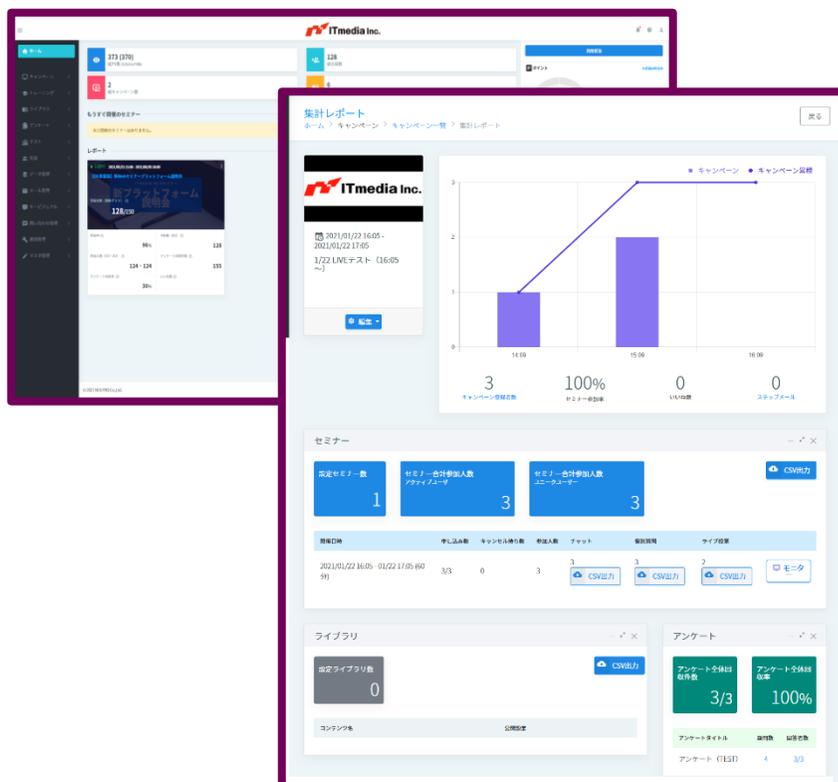
⑤ 質問送信フォーム

配信時のスポンサーセッションにはQ&Aコーナーが用意されており、講演に参加している視聴者はその場でテキストにて質問が可能です。
(※スポンサー様がQA実施を希望された場合のみ)

講演配信だけではなく、アンケートや視聴者からの質問に応えるQ&A機能、POLL（投票アンケート）などのインタラクティブな機能や、情報提供が行えるダウンロード・関連リンク機能をご用意しています（一部機能はオプションとなります）

※画面レイアウトはサンプルです。

セッションの視聴者情報、視聴時間、流入経路、アンケート結果などを、視認性の高いダッシュボードでリアルタイムにご確認いただけます



オンラインレポート掲載項目

- ・視聴者情報（登録項目、登録日時、登録経路、関連資料アクセス日時など）
- ・ライブ/オンデマンドの視聴人数、参加&離脱日時、アンケート回答数
- ・Q&A、個別質問などの行動履歴

※画面レイアウトはサンプルです。

ご留意事項

キャンセル料につきまして

申込書受領後または事務局案内開始後のキャンセルは、下記のキャンセル料が発生いたします。予めご了承下さい。

- ・開催日41日前まで : 50%
- ・開催日40日以内 : 100%

消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

●リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れる現象を軽減します。

障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、

万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日アーカイブ版を案内いたします。

●リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日アーカイブ版をご案内いたします。

●リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

●リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。

10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日アーカイブ版をご案内いたします。

個人情報の取り扱いについて

弊社メディア主催セミナーにおける参加者等の個人情報または個人情報を含むデータ(以下「本個人データ」という)のお取り扱いに関し、以下の点をご確認下さい。

1. (本個人データについて)

本個人データは情報主体の同意の下で弊社が協賛企業へ提供するものです。弊社は、本個人データの収集に際しては、日本国内の法令、条例、ガイドライン等を遵守していることを保証いたしますが、本個人データの正確性、完全性、有用性については一切保証いたしておりません。

2. (データ授受)

提供する本個人データは、申込書に記載のあるご担当者にのみ納品いたします。

3. (利用目的の制限)

本個人データは当該イベントに関連した貴社製品／サービスに関する参加者等の情報主体への情報提供（以下「本利用目的」という）に限定してご利用下さい。
本利用目的以外で本個人データを利用される場合は、貴社の責任において、個人情報の情報主体に対し新たな利用目的を事前通知し同意を得ることをお願い申し上げます。

4. (問合せ先、個人情報変更／削除方法の明示)

本個人データの利用に際しては、適用される法令、条例、ガイドライン等の遵守をお願いいたします。また、本個人データを元に情報主体へアクセスする際は、必ず「貴社内の連絡先」「本個人データ収集元となったイベント名」および「本個人データの変更、削除、情報提供の停止方法」を明示してください。

5. (管理責任者)

本個人データについては管理の責任者を定めご利用下さい。

6. (安全保管)

本データの漏えい、滅失またはき損の防止その他の安全管理のために必要かつ適切な措置を合理的な範囲で講じてください。

7. (再提供)

本個人データの再提供は原則として行わないで下さい。再提供が必要な場合は事前に弊社及び情報主体の承諾を得た上でご利用下さい。

8. (苦情の解決)

貴社による利用により、情報主体から苦情が寄せられた場合、その解決は貴社側で解決いただきますようお願い申し上げます。
また、弊社に苦情が寄せられた場合、貴社にその解決をお願いする場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

9. (損害の賠償)

貴社による利用が情報主体の権利を侵害したという理由で、貴社が情報主体から損害賠償を請求された場合、弊社での責任は負いかねます。あらかじめご了承下さい。



アイティメディア株式会社 営業本部

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル12/13F MAIL : sales@ml.itmedia.co.jp